

大月のいいところフォトコンテスト

入選作品

最優秀賞

パール岩殿 （岩殿山） 小林 忠（山梨県甲府市）



講評

月の動きは、太陽と違ってとても複雑です。地上の風景と一緒に写すには、露出のバランスなど幾つかの条件が重なり、狙う山との位置関係等考えると、年単位の期間が求められることがあります。

この作品は、全ての条件をクリアーして見事に表現されました。月のクレーターの詳細な描写も完璧ですし、山が朝日に映えとても色彩的バランスにも優れた素晴らしい作品です。

大月市長賞

晩秋の深城ダム（深城ダム）村上 敏幸（山梨県大月市）



講評

晩秋の紅葉が残る季節の晴天の日、秋の角度が低い光線が紅葉に射しとてもリアルに写し出されています。遠方には新雪を纏った山々がとても印象的です。手前の紅葉のVの字の奥に背景の山を配位するフレーミングにより、奥行感が感じられる作品に仕上げられています。

大月市観光協会会長賞

雲上の街（岩殿山） 高津 秀俊（山梨県大月市）



講評

真冬の早朝、冷え込みが厳しく放射冷却現象で、放射霧が発生して普段何気ない風景を一変させました。そのような条件下、狙いを定めて撮影に臨んでいらっしゃる努力が報われた素晴らしい作品です。幻想的な光景は、万人の心を感動させてくれることでしょう。

白旗史朗賞

虹立つ （雁ヶ腹摺山） 広瀬 雅英（山梨県富士吉田市）



講評

このコンテストのメインテーマは、「大月のいいところ」に変わりましたが、やはり秀麗富士の雄姿は不変的な存在です。遠方に臨む富士山の上空に湧き上がるような姿の虹が素晴らしいです。広大なスケール感ある作品に仕上げられました。

特選（自然部門）

水澄む溪谷 （猿橋展望台） 佐藤 知津夫（山梨県大月市）



講評

猿橋展望台からの撮影のようですが、早朝まだ溪谷に日が射す前の時間帯なので、色調がブルー掛かり神秘的な岩の色になりました。同時に溪谷の水面も静かで、岩肌や紅葉を綺麗に映し留めています。早朝の撮影の努力の賜物と思います。

特選（自然部門）

モンゲンロートの滝子山と影岩殿（岩殿山）

境 実（神奈川県相模原市）



講評

余程強烈な朝の光だったようで、滝子山の紅色が強烈です。そこに岩殿山の影がクッキリ映された好条件の日を的確に作品にされました。影岩殿山の形が、富士山そっくりで、市長さんも審査員一同驚きました。

特選（自由部門）

雪降る猿橋 （猿橋）石井 晃（山梨県大月市）



講評

市内に住む市民の皆さんの殆どの方が、猿橋の雪景色を見たことがないのではないかと思います。モノクロ調で日本画の世界です。

素晴らしい日に撮影されました。

特選（自由部門）

新緑の桂川溪谷 （梁川町） 村上 敏幸（山梨県大月市）



講評

初夏の緑色が、これでもか！という程、鮮やかに表現されています。赤・青のボートも点景物として、色の扱い方がとても効果的でした。

特選（秀麗富嶽十二景部門）

陽光に染まって （本社ケ丸）内藤 均（山梨県南アルプス市）



講評

画面左サイドからの薄紅色の光が、富士山の肩と手前の樹氷林に徐々に射し始める時間帯の流れの中、とても効果的な一瞬を写し留められた素晴らしい光景です。

特選（秀麗富嶽十二景部門）

新雪に包まれた街並みと紅富士（岩殿山）

佐久間 美紀（山梨県甲州市）



講評

あたかも望遠レンズを使っでの圧縮効果のような描写で表現されています。街の建物を見守ってくれているような富士山の姿が、
神々しくも感じられます。

入選（自然部門）

霧の森 （松姫峠） 星野 郁男（山梨県上野原市）



講評

霧の発生がなければ、ごくごく普通のカラマツ林のようですが、霧の林の手前に佇んでいる方の後ろ姿がなんとも言えません。この方の想いが伝わってきます。曲がった杖もこの想いが伝わってきます。

入選（自然部門）

古木の春 （白谷ノ丸）小俣 仁（山梨県都留市）



講評

長年この峰で、幾多の風雪に耐えて富士山に向かうように鎮座してきたこの樹の雄姿が、素晴らしいと感じました。枯れ立のようですが、その堂々としたフォルムに風格を感じます。

入選（自由部門）

紅葉の新旧猿橋 （猿橋）竹端 榮（神奈川県相模原市）



講評

猿橋の定番的な狙いかたですが、コロナにより観光客ゼロの期間もあったようですが、徐々に戻りかけてきた年に写されたようです。以前のようにお客さんで混雑する年も近いはずです。

入選（自由部門）

甲陽の猿橋 （猿橋） 高津 秀俊（山梨県大月市）



講評

この写真も猿橋ですが、樹々がオレンジ色に近い色調に染まっていて、雰囲気ある作品です。

入選（自由部門）

新緑萌える （新猿橋）佐藤 知津夫（山梨県大月市）



講評

猿橋の作品が続きますが、画面左側の樹々は、一瞬黄葉しているように勘違いしてしまう程、萌えるような色調です。新緑を迎える一番カラフルな季節感を表現されました。

入選（秀麗富嶽十二景部門）

深まる秋 （大峠）原川 哲仁（山梨県大月市）



講評

手前の紅葉の彼方に望める富士山が紅色に染まり素敵です。ハーフ ND フィルターを使用しているようですが、画面右上の樹々が影響を受けてしまっているなので、このような時はフィルターを斜めに使いましょう。

入選（秀麗富嶽十二景部門）

満月の夜の雲海 （百蔵山）伊世井 恒男（神奈川県松田町）

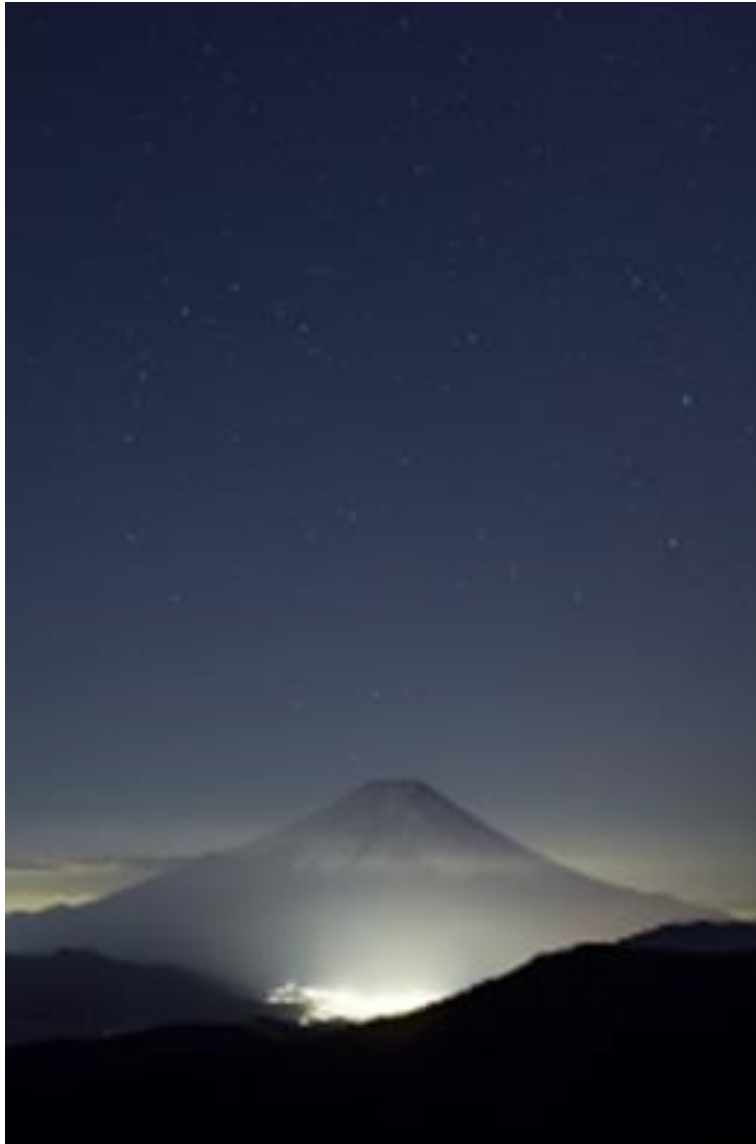


講評

満月の日に、百蔵山から富士山を狙ったようですが、眼下に広がる雲海が魅力的でした。色々な光源により独特な色彩が表現されています。

入選（秀麗富嶽十二景部門）

ハートふる富士 （奈良倉山） 竹端 榮（神奈川県相模原市）



講評

デジタルカメラと明るいレンズにより、星空を写されましたが、肉眼で、ハートに見えたカムムリ座といて座のようですが、中々表現するのは難しいようです。

佳作（自然部門）

収穫の葛野 （葛野） 高津 秀俊（山梨県大月市）



講評

何処の地方にでもあるような秋の収穫時期の写真ですが、後方に大月らしい何かが写っていたら良かったと思います。

佳作（自然部門）

溪谷の装い （梁川） 石井 晃（山梨県大月市）



講評

秋の紅葉期の朝の光線が、溪谷の一部に差し込み、黄葉の樹々が美しく表現されています。

佳作（自然部門）

星降る新桂川橋梁 （新桂川橋梁）竹端 榮（神奈川県相模原市）



講評

新桂川橋梁の下から見上げた星空で、流星群を狙ったようですが、一枚写真では限界があるでしょう。

佳作（自然部門）

雪化粧のまち （お伊勢山） 阿部 勝男（山梨県上野原市）



講評

雪の日の次の日、絶妙な光線条件下で撮影され美しい光景が写し出されています。雲の動きを少し待って撮影した方が良かったかと思いますが、そうすると光が変わってしまうので、難しいところです。

佳作（自由部門）

紅葉の深城湖 （七保町瀬戸） 星野 郁男（山梨県上野原市）



講評

鮮やか過ぎる程美しい午前中の光で、深城湖畔の紅葉が輝いています。目に眩しい程美しく表現できています。

佳作（自由部門）

猿橋絶景 （猿橋町） 菊地 和夫（山梨県上野原市）



講評

見慣れた猿橋の秋の光景ですが、ソフトタッチに仕上げたことで、新鮮な印象を受けました。おしゃれなセンスが光ります。

佳作（自由部門）

賑わいの初秋 （猿橋） 佐藤 友也（山梨県韮崎市）



講評

やはり猿橋は、大月の代表的な観光地であると再認識させられる
紅葉期の賑わいです。

佳作（自由部門）

紅葉を照らして （猿橋）池田 浩樹（山梨県大月市）



講評

猿橋周辺の紅葉が月明かりに照らされて、より一層映える光景になりました。

佳作（秀麗富嶽十二景部門）

夕刻に輝やく （百蔵山）三枝 秀雄（千葉県君津市）



講評

富士山を狙う時、雲との関わり合いは外せません。毎日毎日撮影しても二度と同じ雲はないと思います。一期一会の世界です。

佳作（秀麗富嶽十二景部門）

麗雲 （岩殿山） 境 実（神奈川県相模原市）



講評

富士山上空に晩秋の雲が、青空に広がっています。天高くゆっくりと動いて行く雲と富士を縦位置でキッチリとフレーミングされています。

佳作（秀麗富嶽十二景部門）

農鳥消えゆく頃 （ハマイバ） 山下 政明（神奈川県秦野市）



講評

僅かに鳥の形が残った残雪が見えますが、手前の雲の色調や動きの方が素晴らしいと感じました。

佳作（秀麗富嶽十二景部門）

緑の出会い （姥子山） 大戸 康世（山梨県大月市）



講評

手前の緑と爽やかな青空と雲が美しい写真です。PL フィルターを効かせ過ぎたのか、上空のトーンに濁りを感じます。PL は程ほどに。

佳作（秀麗富嶽十二景部門）

新緑の山並み （百蔵山） 小林 大貴（山梨県甲府市）



講評

五月のゴールデンウィーク辺り、新緑の頃が重なり、清々しい季節感が感じられます。元気が漲る素晴らしい写真です。

